

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ジーダット  
 コード番号 3841 URL <http://www.jedat.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 石橋 眞一  
 (氏名) 増山 雅美

TEL 03-5847-0312

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	342	△53.3	△19	—	9	△97.0	4	△97.5
21年3月期第1四半期	731	—	283	—	303	—	193	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	249.98	—
21年3月期第1四半期	10,071.11	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	2,878	2,417	84.0	125,887.27
21年3月期	2,826	2,447	86.6	127,482.06

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,417百万円 21年3月期 2,447百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	790	△36.0	1	△99.7	32	△90.1	20	△90.7	1,041.66
連結累計期間	1,630	△21.4	2	△99.1	85	△67.9	50	△15.3	2,604.16

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 19,500株 21年3月期 19,500株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 300株 21年3月期 300株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 19,200株 21年3月期第1四半期 19,200株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年3月期の連結業績予想については、当社が現在入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は業況の変化等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4頁【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

金融市場の混乱に端を発した実体経済の悪化がますます深刻化するなかで、当社企業グループは、主力製品「α-SX」の自動設計製品を中心に、顧客毎の設計生産性の向上に直結するような機能強化及びサービス・サポート体制の強化を図ることで競争激化に対応し、一方で利益率の高い自社開発製品の販売に注力してまいりました。

当第1四半期においては、景気後退の局面は底打ちの兆しもみられたものの、我国主要産業の設備投資が依然として回復せず、引き続き非常に厳しい経営環境に晒されております。当社企業グループの主要な顧客である半導体関連及び液晶関連の製造業界においても、生産量の大幅な落ち込みや価格下落による利益率の悪化等の影響から、設備投資の凍結、予算執行の先送りの傾向が続いております。このような市場環境の著しい悪化は、当社企業グループの業績にも影響し、当第1四半期においては当初計画を下回る実績となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は342百万円（前年同期比53.3%減）となり、営業損失は19百万円、経常利益は9百万円（前年同期比97.0%減）、四半期純利益は4百万円（前年同期比97.5%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 当第1四半期連結会計期間末の総資産、負債、純資産の概況

総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して51百万円増加し2,878百万円となりました。内訳としては、流動資産が62百万円増加し1,536百万円、固定資産が10百万円減少し1,342百万円となりました。流動資産の増加は、受取手形及び売掛金が68百万円減少しましたが、現金及び預金が118百万円増加したことによるものであります。固定資産の減少は、繰延税金資産の減少6百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して82百万円増加し461百万円となりました。内訳としては、買掛金が13百万円減少し49百万円、未払法人税等が25百万円減少し2百万円、賞与引当金が54百万円減少し25百万円となりましたが、前受金が163百万円増加し304百万円となりました。

四半期純利益は4百万円となりましたが、配当金の支払が38百万円あり、その結果純資産は前連結会計年度末と比較して30百万円減少し2,417百万円となりました。また自己資本比率は前連結会計年度末の86.6%から84.0%となりました。

## (2) 当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ118百万円増加し、1,189百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下の通りであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比で203百万円（56.8%）減少し155百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が9百万円、前受金の増加が163百万円、売上債権の減少が68百万円が計上された一方、賞与引当金の減少54百万円、仕入債務の減少13百万円、法人税等の支払額が26百万円あったこと等によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比で307百万円（99.6%）減少し1百万円となりました。主な内訳は有形固定資産の取得1百万円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同期比同額の38百万円となりました。これは配当金の支払によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期以降も景気回復の兆しは見えず、当社企業グループの主要な顧客である半導体関連及び液晶関連の製造業界は、依然として厳しい状況下にあることから、当社は平成21年5月14日に公表しました平成22年3月期の連結業績予想からの変更はありません。

当連結会計年度の業績予想は、連結売上高1,630百万円、営業利益2百万円、経常利益85百万円、当期純利益50百万円を見込んでおります。

なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業グループの事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合がありますことをご承知お願います。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
(会計処理基準に関する事項の変更)  
該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前第1四半期連結会計期間において流動負債の「その他」に含めておりました「前受金」は、負債及び純資産の100分の10を超える金額となりましたので、当第1四半期連結会計期間におきましては区分掲記しております。なお前第1四半期連結会計期間の「前受金」の金額は、287,596千円であります。

前第1四半期連結累計期間において「受取研究開発助成金」と表示しておりました勘定科目は、前連結会計年度末においてXBRL化に伴い「助成金収入」に変更していることから、当第1四半期連結累計期間では「助成金収入」に変更して表示しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年 6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,189,273	1,070,778
受取手形及び売掛金	230,581	298,703
たな卸資産	21,513	13,180
繰延税金資産	44,740	39,963
その他	52,808	54,821
貸倒引当金	△2,700	△3,400
流動資産合計	1,536,217	1,474,046
固定資産		
有形固定資産	20,490	21,063
無形固定資産	38,030	40,466
投資その他の資産		
長期貸付金	2,644	3,518
繰延税金資産	200,669	207,281
長期預金	1,000,000	1,000,000
その他	80,391	80,561
投資その他の資産合計	1,283,706	1,291,361
固定資産合計	1,342,227	1,352,891
資産合計	2,878,445	2,826,938
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	49,633	63,239
未払法人税等	2,940	28,900
賞与引当金	25,945	80,226
前受金	304,243	—
その他	78,646	206,915
流動負債合計	461,409	379,282
負債合計	461,409	379,282
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	760,007	760,007
資本剰余金	890,558	890,558
利益剰余金	797,946	831,547
自己株式	△32,676	△32,676
株主資本合計	2,415,835	2,449,435
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	1,200	△1,780
評価・換算差額等合計	1,200	△1,780
純資産合計	2,417,035	2,447,655
負債純資産合計	2,878,445	2,826,938

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	731,943	342,042
売上原価	164,163	111,693
売上総利益	567,779	230,349
販売費及び一般管理費		
役員報酬	8,950	10,845
給料及び手当	82,680	68,792
賞与引当金繰入額	25,976	13,516
研究開発費	75,199	93,027
その他	91,800	63,422
販売費及び一般管理費合計	284,608	249,603
営業利益又は営業損失(△)	283,171	△19,254
営業外収益		
受取利息	2,214	3,219
受取研究開発助成金	17,424	—
助成金収入	—	26,649
その他	1,028	735
営業外収益合計	20,667	30,604
営業外費用		
為替差損	—	2,099
営業外費用合計	—	2,099
経常利益	303,838	9,250
税金等調整前四半期純利益	303,838	9,250
法人税、住民税及び事業税	93,772	2,616
法人税等調整額	16,701	1,834
法人税等合計	110,473	4,450
四半期純利益	193,365	4,799

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	303,838	9,250
減価償却費	2,849	4,891
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,000	△700
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,357	△54,280
受取利息	△2,214	△3,219
売上債権の増減額(△は増加)	73,423	68,121
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,951	△8,333
仕入債務の増減額(△は減少)	△61,204	△13,606
前受金の増減額(△は減少)	176,337	163,475
その他	9,376	9,144
小計	465,000	174,744
利息の受取額	5,516	6,993
法人税等の支払額	△111,744	△26,572
営業活動によるキャッシュ・フロー	358,772	155,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,691	△1,248
無形固定資産の取得による支出	—	△645
貸付金の回収による収入	848	860
定期預金の預入による支出	△300,000	—
その他	645	△217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△309,198	△1,250
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△38,400	△38,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,400	△38,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,428	2,980
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,745	118,495
現金及び現金同等物の期首残高	1,348,367	1,070,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,358,113	1,189,273

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)  
該当事項はありません。